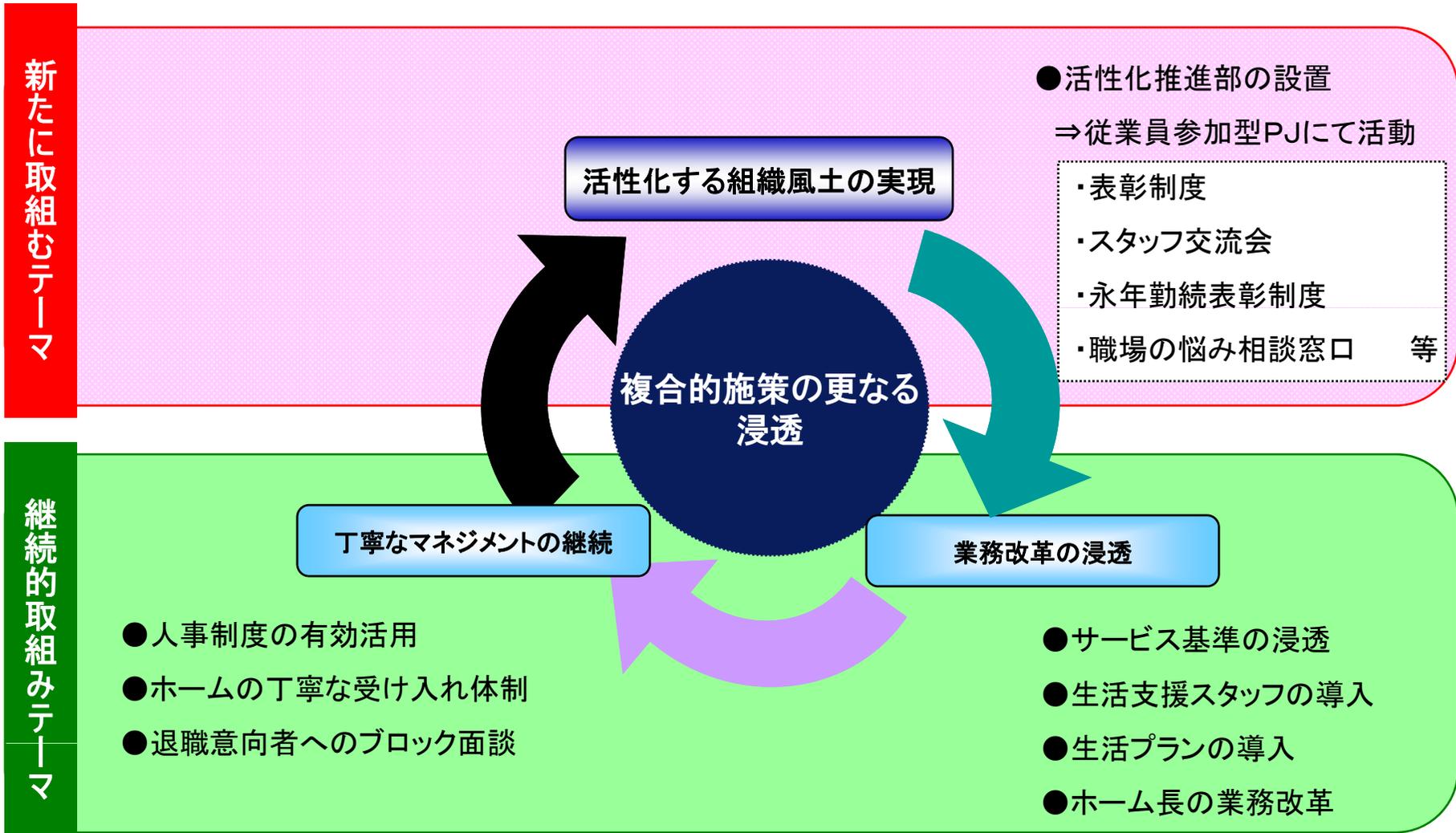


定着率向上施策の全体像

複合的施策の実施により、さらなる定着率向上を図る。



08年度の採用戦略(中途入社)

①ターゲットの明確化・・・「介護業界**経験層**」をメインターゲットとする

業界全体の採用状況の好転は急には望めない。
業界内での転職層をメインに採用戦略を組み立てていく

②母集団形成のための仕組みづくり・・・「縁」を大切にする

ターゲットに対して、まずベネッセとの「縁」をつくり、
「縁」があった方に理解・共感いただく仕組みを作る

- 紙媒体からWebへの誘導
- 面接よりもハードルが低い「説明会」で接点をもつ
- ホーム見学会、研修見学会への呼び込み
- Webをコミュニケーションの場にする
- 友人紹介制度
- 退職者とのつながり

③発信内容の見直し・・・「ベネッセの人へのこだわり」発信

ベネッセの理念・姿勢・考え方を採用マーケットに発信していく
人事制度に込められた「思い」を発信

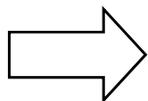
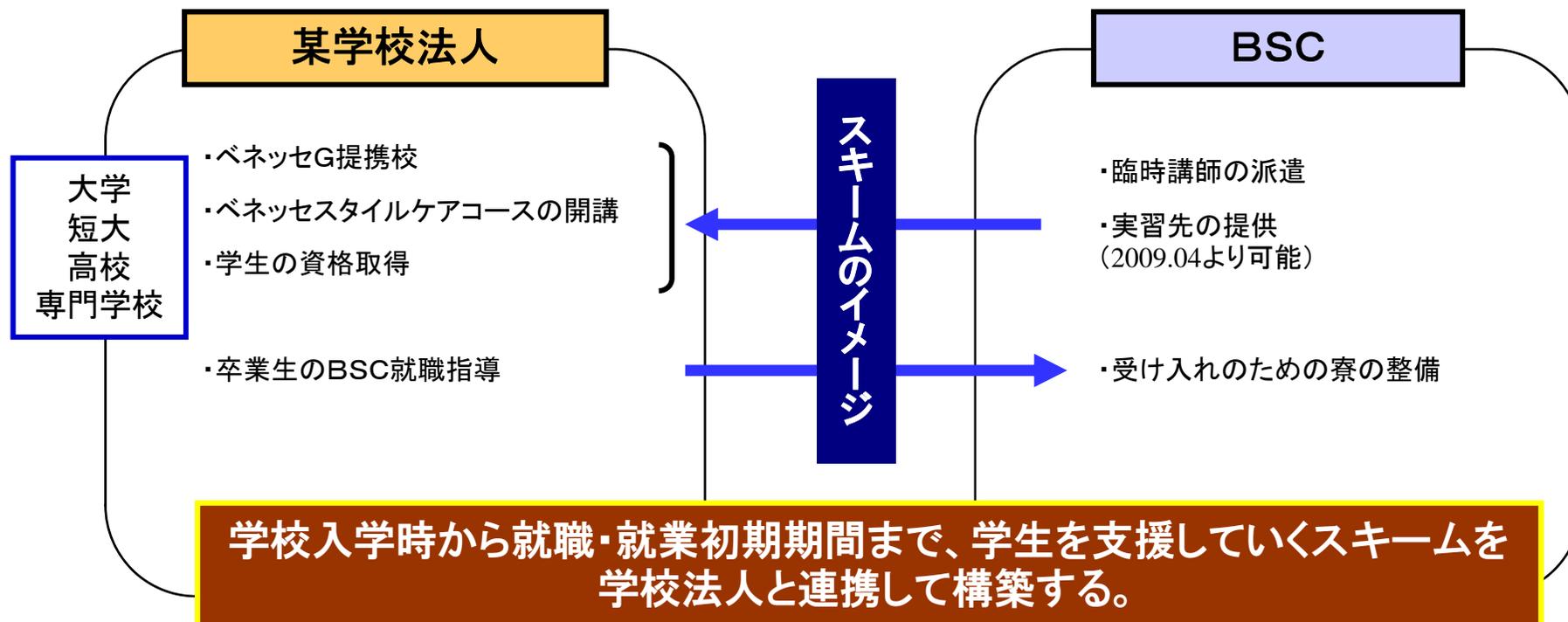
- Webへの誘導強化と発信内容の見直し
- 募集広告の訴求の見直し
- 紙媒体からWebへの誘導

採用戦略(新卒)

“ベネッセ”を訴求のコアにしたターゲット別採用スキーム作り

新卒採用スキーム作り

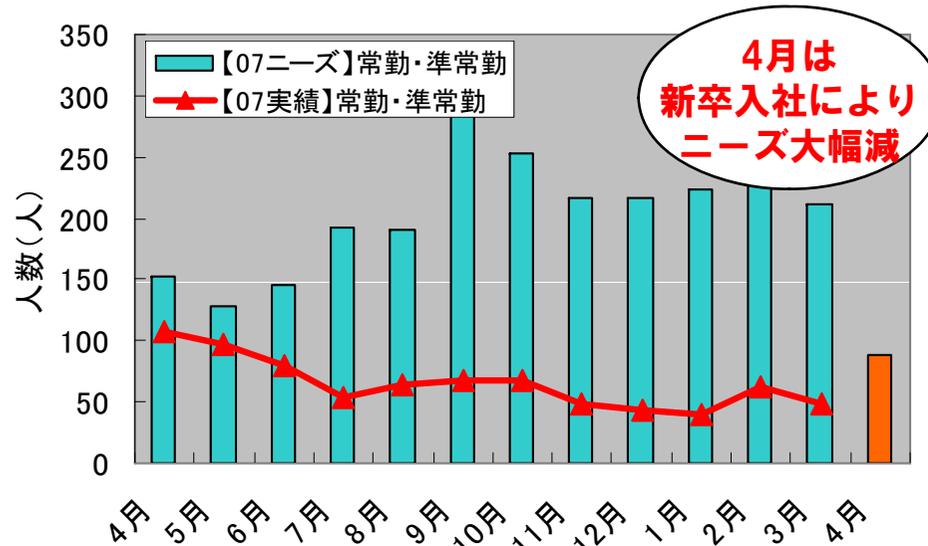
「教育のベネッセ」ブランドをコアにした
学校法人とのコラボレーション



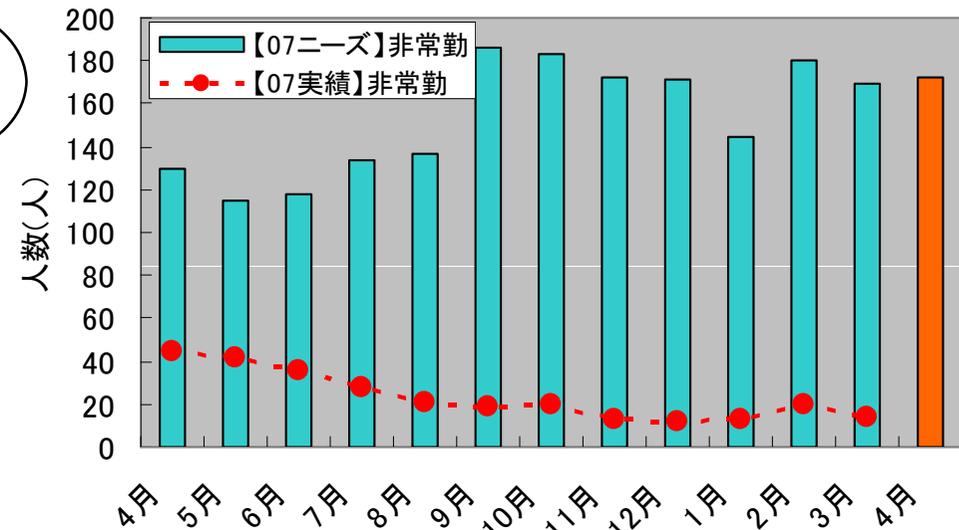
再現性あるスキーム実現の段階で、拡大を図る。

- 一事業者として質の高いサービスを継続的に提供するために、人材確保・雇用管理の改善を進めている結果、定着率は向上。
- しかし、それでもなお欠員が生じており、派遣労働者に頼っているほか、採用は困難を極めている危機的な現状。
- 現在の介護従事者不足は、日本の労働市場の構造的な課題に因るもの。少子化により労働力人口が減少する中、介護分野は、人件費割合が高く、一人当たりの生産性向上は容易ではない。

●常勤・準常勤：採用ニーズと実績



●非常勤：採用ニーズと実績



□ 高齢化に伴い増大する介護ニーズを満たすための要望

- ① 介護分野に関する国民の関心を高めイメージアップを図り、介護報酬・介護保険料を含めた適切な対価に対する国民理解を促進すること
- ② 外国人労働者の受け入れを含めた労働力の供給量の増大
- ③ 介護事業における規制緩和・自由化による効率的な介護サービスの実現

□ 危機的な現状を踏まえた労働政策に関する要望

- 有料老人ホームに対する介護従事者および看護師の労働者派遣の派遣可能期間の制限撤廃